

【地域の概要】

- 春里地区は可児市南西部に位置し、豊かな田園風景のある地区で、南部及び中央部には山林があり2つのゴルフ場がある。
- 東部には開発された住宅団地があり、北部には可児川が流れ、商業施設も多くある。
- 南部は南北に複数の洞が伸びており、水田が広がっている。

①取組開始前の状況や課題

農業従事者の減少・担い手の不足

- 管内の農地面積857haのうち、担い手への集積面積112.5ha、集積率は13.1%
- 農業従事者が減少する中、農地の受け手である認定農業者、認定新規就農者、集落営農が不足している

農業参入を希望する法人の受入れ

- 令和2年度までに市内で6社の農業参入法人が農業経営を開始している
- 担い手の育成や掘り起こしとともに、農業参入を希望する企業に対しても農地貸借の支援など、地域でスムーズに農業経営できるサポートが必要

②取組内容

春里地区で農業参入する法人の農地取得など支援（令和3年4月～）

- 市内の企業が、新たに農業法人（農事組合法人）を設立し農業参入を希望
- 司法書士による農業法人設立支援、市と連携した経営改善計画の認定支援

農地3.6haを借受け（令和3年6月～）

- 農業従事する企業の役員らが構成員となり農事組合法人を設立し、6月から3月にかけて6回の利用権設定が完了。約3.6haで水稻、サツマイモ、栗の生産を開始した
- 同法人は今後、菌床キクラゲの栽培を目指すため、農業用施設設置の手続き、地域との調和や更なる農地の規模拡大について、地区の農業委員・推進委員と連携していく

③今後の展開と方向性

他地区でも農業参入を推進

- 平牧地区では、製造業を行う株式会社が昨年1月からイチゴハウスをオープン
- 市と連携して農業経営発展を支援していく
- 別地区では、農業参入したい企業や、市外からの移転・入作を希望する法人の相談あり
- 地区の農業委員・推進委員を中心に地域や農地所有者との調整を進めていく



平牧地区にオープンしたイチゴハウス

農業参入した圃場・ハウスなど

<春里地区>



サツマイモ栽培地



菌床キクラゲ栽培施設予定地

<平牧地区>



イチゴハウス



管理事務所